教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)

選択　2単位

木原　久美子

1. 授業の概要（ねらい）

本講では、教育分野に関わる理論と支援について、学校教育を取り巻く社会的状況、教育分野に関する理論、教育分野に関する支援と実践、教育分野に関する今後の支援課題をテーマに学ぶ。既存の理論のみならず、最新の統計資料をもとに、学校教育が抱える課題を考え、整理し、心理的援助の方法について参加者とともに検討していく。

2. 授業の到達目標

1）学校現場が抱える現代的な課題を理解する。
2）学校・教育現場における実践の理論と支援のポイントについて学ぶ。
3）専門職のチームワークによる学校への支援について学ぶ。

3. 成績評価の方法および基準

グループディスカッション等授業に対する積極的参加、発表、テストなどを総合して評価する（目安として参加20%、発表30%、テスト50%）

4. 教科書・参考文献

教科書
倉光修　学校臨床心理学・地域援助特論　放送大学

5. 準備学修の内容

1）授業内容を振り返り、学んだことを整理する。また、可能な限り図書館を利用して、テーマに関する文献を読み、内容についての理解を深めるよう努めてほしい。
2）分からないことがあったら、授業後に質問するか、文献を調べること。

6. その他履修上の注意事項

授業における積極的な参加を評価する。参加に当たって、他者の話を聞くこと、話すことのいずれにも留意することが求められる。

7. 授業内容

【第1回】　教育分野における公認心理師等心理専門職への期待
【第2回】　Ⅰ　学校教育を取り巻く社会的課題：不登校の実態から支援課題を考える
【第3回】　いじめ・学びからの逃走の実態から支援課題を考える
【第4回】　インクルーシブ教育とチーム学校の取り組みの現状と心理職ができることを考える
【第5回】　Ⅱ　教育分野に関する理論：生涯発達を支える基礎理論を学ぶ　エリクソンの心理社会的発達理論と支援課題を学ぶ
【第6回】　ブロンフェンブレンナーの生態学的発達理論からシステムの観点を学ぶ
【第7回】　カウンセリングとコンサルテーションについて学ぶ
【第8回】　Ⅲ　教育分野に関する支援：事例を通して学ぶ支援のポイント
倉光修編著：学校臨床心理学・地域臨床心理学　放送大学大学院テキストより
【第9回】　小学校でのスクールカウンセラーの仕事から支援の取り組みを学ぶ
【第10回】　中学校でのスクールカウンセラーの仕事から支援の取り組みを学ぶ：不登校の場合
【第11回】　中学校でのスクールカウンセラーの仕事から支援の取り組みを学ぶ：非行の場合
【第12回】　高等学校でのスクールカウンセラーの仕事から支援の取り組みを学ぶ
【第13回】　教職員に対するコンサルテーションの取り組みを学ぶ
【第14回】　Ⅳ　教育分野に関する今後の支援課題について検討する
【第15回】　まとめと試験